

研究成果報告書

研究課題：在日『外国人』高齢者の生活課題調査

グループ名：長田協同研究プロジェクト

研究期間：平成 22 年 6 月～平成 23 年 5 月

<研究メンバー>

氏名	所属
岡田浩樹	神戸大学国際文化学研究科
金宣吉 (キムソンギル)	NPO 法人 神戸定住外国人支援センター (KFC)
野上恵美	神戸大学国際文化学研究科博士後期課程
徐 小潔	孫文記念館 神戸大学国際文化学研究科異文化研究交流センター 神戸華僑歴史博物館
呼和徳力根 (フフデルゲル)	NPO 法人 神戸定住外国人支援センター (KFC)

〇はじめに

●調査の目的

多文化が根づく神戸市においては、外国人住民や中国残留邦人帰国者および配偶者の高齢化も進んでおり、言葉の壁、文字の壁（非識字層が多い外国人高齢者らの多くが抱える問題）、文化の違いなど等により孤立、福祉情報が届かない状況が散見される。

今回、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター（KFC）と長田協同研究プロジェクトの協同事業として、多文化化が進む神戸在住外国人高齢者らの生活環境、福祉状況改善に繋がる指針づくりにつなげるため、エスニック母数、在日生活歴、孤立度等を勘案し、在日コリアン、在日ベトナム人、中国残留邦人帰国者および配偶者高齢者への対面調査を実施した。

また神戸の近代化に伴い、奄美文化圏から多数の住民が移住してきた経緯と定着化、コミュニティ活動と文化の継承は、異文化を持つ移住高齢者とホスト社会の関係性を考える上でも重要と考え上記調査とは別に徳之島調査も行った。